

1 / 2 成人式をしよう

教科・領域 総合的な学習の時間

山陽小野田市立厚狭小学校 4 学年

キャリア教育の観点

自分が生きてきた10年間の出来事や成長の様子を周囲の人から聞き、自分の成長過程を振り返り、実感し、今の自分をよく見つめ、将来の自分についての夢や希望をもって、意識的に考え、スピーチという形で表現し合う活動。

【人間関係形成・社会形成能力】 【自己理解・自己管理能力】 【課題対応能力】 【キャリアプランニング能力】

オリエンテーション

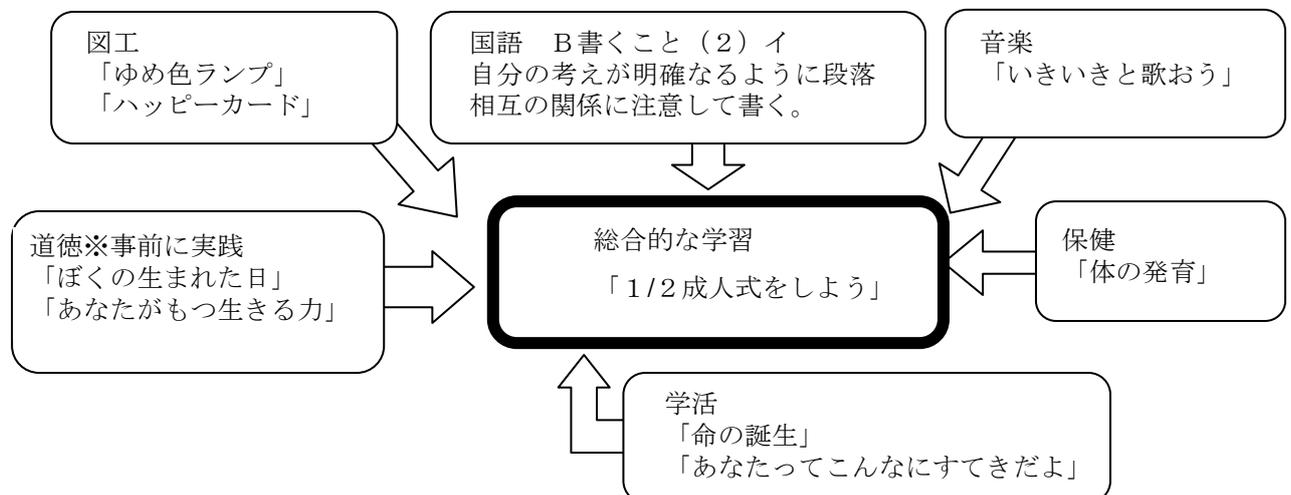
【学習のめあて】

- 自分が生まれて10年経った今、これまで育ってきた自分の歩みを振り返る。
- たくさんの人に支えられ、たくさんのことを経験して育ってきた自分を知る。
- これまでの10年間の自分の歴史を「10年史」にまとめる。
- これまで育ててもらった感謝の気持ちやこれからの自分の決意を1/2成人式で家族へ伝える。

【単元の流れ】

月 / 日	総合的な学習	国語	図工	学活	音楽
1 / 14 21 28	オリエンテーション 生まれるまでのエピソード調べ 3才まで		ランプのプレゼント作り	「命の誕生」	
2 / 4 10 17 18 25	入学まで 入学後 1/2成人式の準備・練習	「将来の夢」 についての 作文	招待状作り	「あなたって こんな すてきだよ」	歌・よびかけの練習
3 / 1 4	1/2成人式本番 (参観日) 学習の振り返り	10年後の 自分への手紙			

【他教科とのかかわり】



授業の実際

【保護者へのお知らせ】

3学期の総合的な学習の時間の「2/1成人式をしよう」についてのご希望として、プリントを配付して意図を説明し、これからの学習内容として保護者の方々のご協力をお願いしたいことを伝えた。

【学級活動】

「命の誕生」として、授業前に総合で調べ学習に取り組んだ。調べ学習を通して、周囲の人々に大切にされた自分の存在に気付くことができるようにした。参観日には、それぞれの発達段階で、児童の一人ひとりのおなかの中での様子や家族の思いを発表した。

【図工】

おうちの方へプレゼントとして、「ハッピーカード」「ゆめ色ランプ」作りを行った。

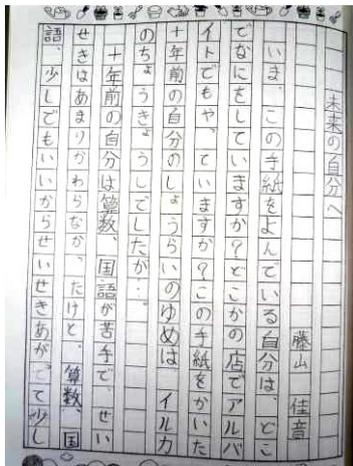
【総合的な学習の時間】

「1/2成人式をしよう」①

生まれてから3才、3才から入学、入学から今までのエピソードについて調べた。アルバムやビデオ、写真、作品、思い出の品を見たり、家族、親戚、友達、保育園の先生、習い事の先生、近所の人など、いろいろな人へのインタビューをしたりしながらまとめた。

「1/2成人式をしよう」②

10年後の自分を想像しながら書いた手紙



「1/2成人式をしよう」④

10年史



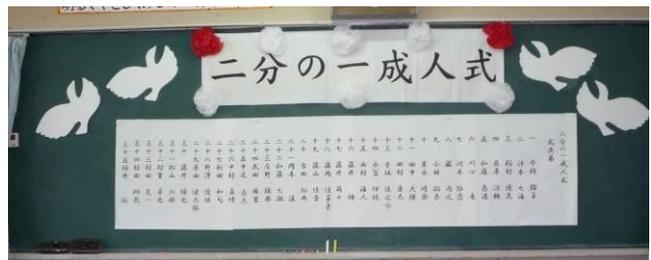
「1/2成人式をしよう」③

児童の言葉を組み合わせで作った呼びかけ。



「1/2成人式をしよう」⑤

3学期最後の参観日での発表。前半は各教室での発表。前半は各教室で、個人発表を行った。後半は、体育館で全クラス合同の呼びかけを行った。



個人発表



全体発表



プレゼント



【児童の感想】

- 今日、参観日で1/2成人式がありました。ぼくはすごくきんちょうしました。〇〇君が終わってぼくの番がきました。すごくドキドキしました。作文を全部読み終わって礼をして座るとすごくほっとしました。次に体育館でみんなで一言ずつ言いました。お母さんたちが6人泣いていました。教室にもどってお母さんにプレゼントをあげました。家に帰ったらすごくほめられました。すごくうれしかったです。

成果と課題

【成果】

- 児童は、自分のこれまでの成長について調べ学習を進める中で、家族をはじめ、周囲の様々な人のかかわりの中で自分の成長があることを改めて感じ、感謝の気持ちをもつことができた。
- 自分の将来について明確な目標をもっている児童は多くはないが、この学習が自分のこれからについて考えるきっかけとなった児童も多かった。
- 友達の夢や考えを聞くことによって、自分の考えを広げたり、友達の新たな面を知ったりするための良い機会となった。
- 教師サイドからも児童のこれまで知り得なかった面を知ることができた。
- 大勢の前での発表の機会を設けることで、児童は緊張しながらも達成感を持つことができ、発表することへの自信へとつながった。

【課題】

- 横断的な学習を仕組み、いろいろな内容に取り組んだが、個人差が大きく、活動に予想以上の時間がかかった。
- 多くの内容を組み込んだため、教師主導の側面が強かった。呼びかけ等は児童の言葉を取り入れたり、本番の進行等も児童が行ったりしたが、計画段階からもっと児童が主体的に考え、作り上げるという側面を強くしていくことが大切だと感じた。
- 様々な事情を抱えた家庭もあるので、調べ学習の際には十分な配慮や声かけをしていくことが必要である。
- 形式にとらわれすぎず、継続的な指導を行うことが大切である。